



2007年3月2日

ロールス・ロイス、民間航空部門チーフ・コマーシャル・オフィサーに マーク・キングを任命

【英国 2007年3月2日】民間航空、防衛航空、船舶、エネルギー各分野の世界市場において事業展開するロールス・ロイス社（本社：英国ロンドン、CEO：サー・ジョン・ローズ、以下「ロールス・ロイス」）は、チャールズ・カディントンの3月の退任にあたり、後任として民間航空部門のチーフ・コマーシャル・オフィサーにマーク・キングを任命したことを発表しました。

マーク・キングは、18年間にわたり、ロールス・ロイス民間航空機向けエンジンの顧客サービス担当エグゼクティブ・バイス・プレジデントとして、日本市場とも深くかかわりながら、セールス、マーケティング、カスタマーサポート、アフターマーケットサービス、ビジネス戦略など多岐にわたる部門を統括してきました。

その後は、最近まで3年間にわたり、ロールス・ロイスが主要株主でV2500タイプエンジンを製造するインターナショナル・エアロ・エンジンズ社(IAE)において、社長兼最高経営責任者の役職に就いていました。

マークはこのたびの就任にあたり次のように述べました。「ロールス・ロイスならびに業界全体の発展に貢献したチャールズには遠く及びませんが、チャールズと7年間一緒に仕事をした経験を生かして、彼に恥じないよう後に続けたいと思っています」

ロールス・ロイスを3月で退職するチャールズ・カディントンは、これまで38年間にわたり、民間航空部門の主にセールスおよびオペレーション・サポートを担当する要職に就いていました。Trent 500およびTrent 900のプロジェクト・ディレクター、ロールス・ロイス オーストラリアのマーケティング・マネジャー、アジア地域担当ビジネス・デベロップメント・ディレクター、ならびにテイ・エンジン・プログラムのプロジェクト・ディレクターを歴任しました。